

エルサルバドル治安情勢（注意喚起）

8月24日、当地最高裁判所は青少年凶悪犯罪集団（マラス）をテロリストに指定し、治安当局もマラスに対する取締りを強化しています。マラスのなかには社会体制の崩壊を企図する集団があり、最近は同集団によるテロ活動が活発化しています。

また、エルサルバドルは9月15日に独立記念日を迎え、12日から当日までは記念行事が予定されています。同期間中の記念行事等は、テロリストにとっては格好の標的になり得ますので、十分ご注意ください。

日本国外務省では、エルサルバドル全土にわたり、渡航情報（危険情報）「十分注意してください」を発出しています。引き続き、当国で生活する上では、細心の注意が必要です。特に以下の点を参考にご注意ください。

- ア 不要不急の外出を控え、特に危険とされる地域には立ち入らない。
- イ 外出する際は、自家用車やラジオタクシーを利用し、路線バス、自転車及び徒歩での外出はしない。
- ウ 外出時は大きめの荷物を避け、カメラや貴重品を目のつかないよう所持し、華美な服装を避ける（宝飾品等は目的地に到着してからつけることも必要です）。
- エ 万一、強盗に遭遇した場合は、生命を第一に考え抵抗しない（犯人に金品を渡すため慌ててポケットに手を入れる等の急な動作を避け、行動は静かに犯人を刺激しないようにする）。